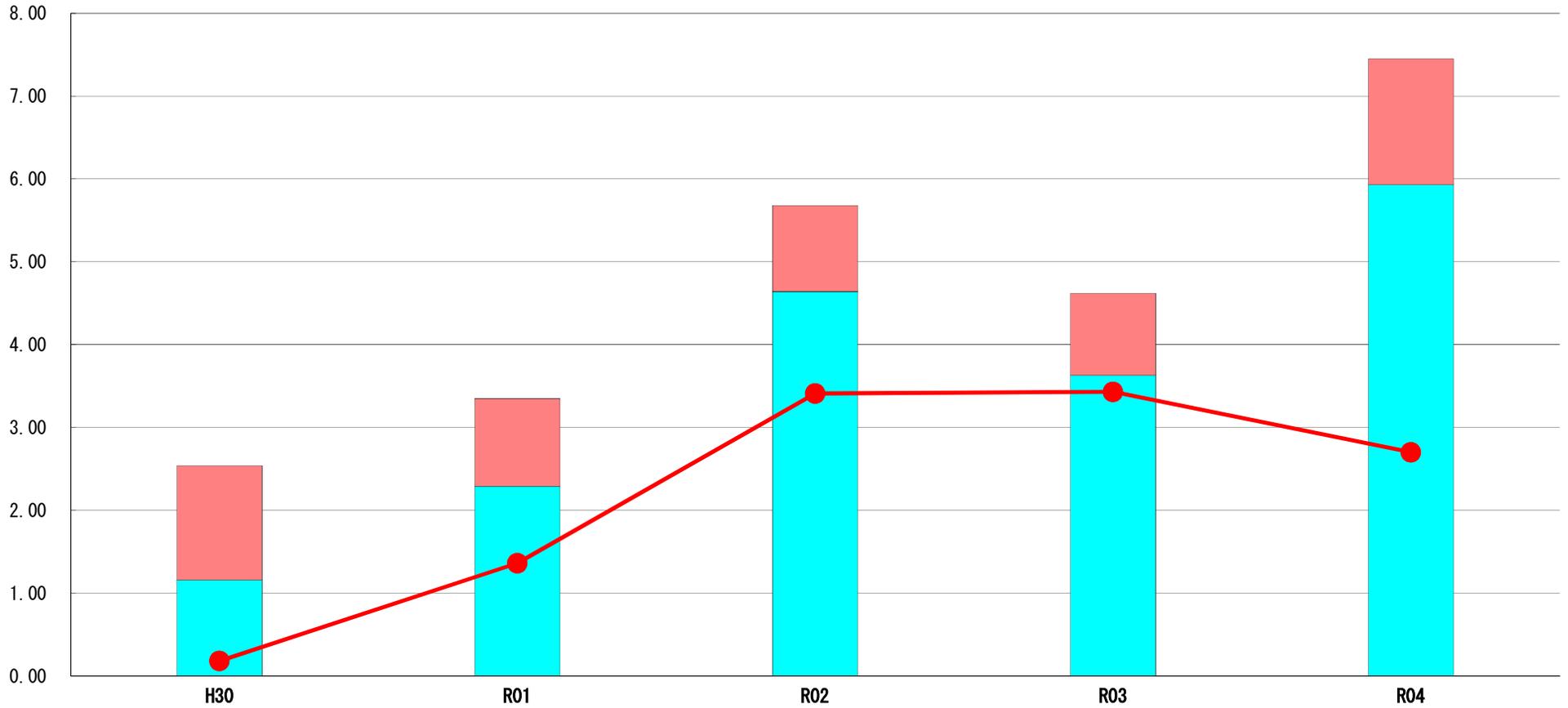


(7) 実質収支比率等に係る経年分析（都道府県）

令和4年度

和歌山県

標準財政規模比（%）



標準財政規模比（%）

区分	年度	H30	R01	R02	R03	R04
 財政調整基金残高		1.38	1.06	1.04	0.99	1.52
 実質収支額		1.16	2.29	4.64	3.63	5.93
 実質単年度収支		0.18	1.36	3.41	3.43	2.70

分析欄

令和4年度の決算規模は、歳入・歳出ともに前年度と比べて減少した。歳出が防災・減災、国土強靱化の推進に係る投資的経費の減少等により63億円減少し6,372億円、歳入が地方交付税や臨時財政対策債等の減少により105億円減少し6,629億円となっており、歳入歳出を差し引いた金額は前年度を41億円下回る257億円となった。

実質収支は、翌年度に繰り越すべき財源が新型コロナウイルス感染症関連事業の繰越減少により109億円減少し75億円となっており、前年度を67億円上回る181億円となった。

また、実質単年度収支は、財政調整基金積立額が15億円増加した一方、県債繰上償還額は132億円の減少となったものの、近年の実質収支・実質単年度収支に決算の確定により歳入超過となった新型コロナウイルス感染症対策関連経費が含まれていることもあり、83億円の黒字となった。

今後見込まれる社会保障関係費や公債費の増大に対応するため、より一層の歳出削減・歳入確保の取り組みを進めていく。